平成２９年度自己点検・自己評価の結果について

１．教育理念・目標

本学院は開校以来、「社会で必要とされる専門的最高の知識・技術を身に付けるため、専門的資格を習得させ、社会人としてのマナーを身に付け、希望にかなった就職を実現する」ことを目標とし、「すべては学生のために」の理念に基づき、教育活動を意欲的に取り組んでいます。

目標については、不易と流行という言葉を常に考慮し、揺るがぬ信念のもと、教育課程専門委員会等の意見を入れつつ、学院内部で適宜検討を行い、時代や社会のニーズに対し意欲的に応えるべく独自の取組を行っており、地域や企業の評価も良好なものとなっています。

今後は、各学科毎に行っている具体的取組を学生や保護者がもっと認識できる方法を工夫し、学校全体の発展を推進します。

２．学校運営

伝統の中で培ってきた効率的な学校組織を基礎に、規則や規定等の整備に取り組み効果的な学校運営を展開しています。また、教職員の共通理解を図ると共に職員の新規採用を積極的に行い、新しい技術の積極的な導入を推進すると共に、学内及び学外の研修や講演会参加を通じ、職員のスキルアップ及び人材育成に意欲的に取り組んでいます。なお、学院ホームページの刷新及びＳＮＳ活用にも取組み、積極的な情報発信を通じて学生や保護者、地域の方々に対し一層理解を深めていただいています。なお服務・待遇に関する規定も適宜整備し、適正で効率的な学校経営に尽力しています。

３．教育活動

資格取得及び就職に必要となるカリキュラムを体系的に編成し、シラバスを作成し学習時間の配分などに考慮しています。同時に職業教育に対する外部関係者との連携を深めることで、関連分野における実践的な授業を展開しています。また教師自身及び学生によるアンケート等の授業評価を通じ、各教員の授業分析を行い一層の能力向上に努めています。なお、業界団体との授業連携も可能となったことで、様々な助言を受けカリキュラムに新しい科目が導入されるようになりました。

次に各種資格取得については、各学科の特色を生かし、基礎学力の定着と応用力を踏まえた授業の展開、そして試験内容の分析及び対策授業を組合せ、理解しやすいよう工夫し、高い合格率の達成に取り組んでいます。

４．学修成果

就職専門担当職員の配置により、企業と密接な関係が構築されて就職状況については例年通り良好な結果となっています。また、多様な面接指導及び社会人としてのマナー指導の授業は、卒業する学生を側面から支援することとなり、就職した学生の定着率の向上にも貢献しています。就職先の企業を対象に、卒業生の評価及び学院に対する要望等の調査を実施しており、その分析結果は迅速に授業や就職指導に反映させ

るよう努力しています。
次に各種資格取得については、社会のニーズや学生の興味に応じた、新たな資格試験にも挑戦させ、効率的な試験対策により、全国平均を大きく上回る高い合格率を維持しています。

5．学生支援
本学院は体験入学やオープンキャンパスを積極的に開催し、入学前の進路相談を行っています。入学後も様々な悩みを抱えた学生を対象に、２名のカウンセラーと学級担任が連携を密にすることで、早期対応が可能な体制ができあがっています。
また、健康な体で授業を受ける事が基本と考え、健康診断を新学期に実施し、近隣の医療機関との連携及び保護者との連絡を密に行い、学生の健康管理を配慮した体制をつくり、精神的にも肉体的にも勉学に打ち込める環境作りを行っています。
なお、経済的支援については、日本学生支援機構等の奨学金制度の活用を推奨し、同時に本学院独自の学費支援制度を設けています。
保護者との連携が学校運営の要であると考え、保護者による後援会組織を設置し、役員会や総会等で意見をいただき、その意見を教育活動に生かすよう努めると共に、個別には学級担任から成績報告等の発送や、必要に応じた学生の状況報告等で、保護者と緊密に連絡を取りながら個別指導を行っています。

6．教育環境
本学院の教室・実習室・大講義室及びパソコン・プロジェクタ・スクリーン等の教育設備については必要かつ十分に整備されています。また、これまで年次計画でハード面への改修に取り組んでいます。これまで課題とされてきたトイレの洋式化の工事も年度末には完了しました。現況に於いて学習環境としては恵まれた状況にあると考えています。今後も必要に応じ設備の充実や建物の改修を行っていく予定です。

7．学生の受入れ募集
学生の募集に関しては、体験入学やオープンキャンパスを開催し、全体説明や生徒への個別面談を通じて、各設置学科の特色及び学習内容と就職先状況を丁寧に説明し、学生の進路目標とのミスマッチを極力少なくするよう心掛けています。
同時に、パンフレットやホームページに就職先の実績や資格取得者の表彰風景を出来るだけ写真入りで掲載し、事実に基づき広報活動を行うように努めています。
入学選考においては、本人の志望動機や学科に対する理解度、学習意欲等を適正・公平に判定し選考を行っており、選考委員会で厳正に最終合否が決定されています。
学納金については、保護者の負担軽減を念頭に、地域特性や他校の状況を踏まえて決定しており、適切な状況であると考えています。

8．財務
財務状況に関しては、これまでも財務基盤の安定化に努め、資金繰りを安定化させるよう取り組んでおり、予算・決算は適正に執行されています。今後も経費の無駄を

極力省き、学習環境の充実を一層推し進めていきます。

９．法令等の遵守

専修学校設備基準等に基づき、施設設備の整備に努め適切な運営を行っています。また、個人情報管理委員会を設置し、その保護管理に万全を期し、教職員へもその趣旨を徹底しています。学校自己評価を行い、その結果を公表しており、外部からの意見も聴取出来るようにしています。

１０．社会貢献等

学校の特性を生かし、高等学校への出前授業や講習会を行い、高校生が専門的知識を習得出来るよう、高等学校側と協力体制を構築してきました。また、昨年に続き小・中学生対象のパソコン教室を夏休みに開催し、パソコンに対する興味関心を早い段階から、一層深めてもらえるよう取組みを行いました。

学生には社会貢献の意義を踏まえ、地域の清掃活動や別大マラソンのボランティア活動に積極的に参加するよう指導し、達成感を体験できるよう取り組ませています。

本学独自で毎年行っている公開講演会は、本学の学生のみならず、高等学校の生徒や教師、民間企業や地域の方々へも幅広く広報活動を行い、多くの賛同を得て講演会への参加者の人間力向上に大きく貢献しています。